

3月号

2012年3月17日発行

あさのがわ

みやちくじちしんこうかい 広報

宮地区自治振興会 甲賀市甲南町野川 818 甲南第三地域市民センター内 電話 0748-86-8518 FAX 0748-86-8519

よじやく一年

宮地区自治振興会 会長

西本 惠一



例年になく厳しい寒さも峠を越し、春の足音が日に日に大きくなる、そんな季節になりました。地域の皆様には、宮地区自治振興会の活動に対してご協力賜り、心よりお礼を申し上げます。

甲賀市に於いて自治振興会の制度がスタートしたのは昨年四月、宮地区自治振興会は、甲南町の他の学区に先駆けて設立することができました。先日碧水ホールであった、自治振興会フォーラムで、私たちの活動を発表したところ、その取り組みに対して高い評価をいただきました。同時に、模範村として名高かった「宮村」という温かい地域性と歴史が今日にも生かされていると、講師の先生からお言葉をいただきました。

宮地区自治振興会では、「宮の宝」として、子どもたちの健全な育成と、「宮に住んでいて良かったなあ」と思っていただけ地域づくりを今後も目指します。

みなさまと共に住みよい宮をつくっていききたいと思

います。
ご協力を宜しくお願い致します。



猿退治は地域を挙げて

二月二十五日獣害研修会 農林部会

野生鳥獣による被害は、年々増加しております。十年ほど前にこの地域では、イノシシや鹿の被害はほとんど見当たりませんでしたし、サルによる被害も宮全体には及びませんでした。ゴルフ場や、新名神の開発により、いつの間にかイノシシや鹿、サル更にはアライグマが地域にじわじわと近づいてまいりました。

上馬杉区、下馬杉区、柑子区では二十三年度、防護柵で圃場を囲む獣害対策が施工されました。上野川区では、獣害環境調査を行い、イノシシと鹿の捕獲罠の設置を検討されています。

このように、現在取り組まれているのはイノシシや鹿を対象とする防御対策ですが、難しいのはサルへの対策です。二月二十五日に行われた獣害研修会では、団体での取り組み、集落上げでの取り組みの必要性を学びました。特にサルへの威嚇は個人では無理がありません。また集落を餌場にしなため、収穫しない果樹（野生種も含む）、や野菜を放置しないなど、とられない工夫が必要です。パチンコや、脅し花火を有効に利用することも一手です。地域や団体での取り組みをお願いします。





文化体育部会

部会長 中野 稔之

私たちの住んでいる宮地区には多くの宝があります。伝統文化や文化財、そしてなによりもこれからの宮の未来を支えてくれる子供達の将来を見据えた取り組みを推進していかなくてはなりません。

伝統深い区民運動会の充実や文化祭開催の検討に取り組み、区民の親睦、融和を図ることで、区民の日常生活に潤いを与える行事となることを目指します。

また、歴史と文化の香りが高い宮地区を滋賀の宮村、文化財マップを活用して、誇りや生きがいを実感できる機会をつくることに取り組むための準備を進めていこうと思います。

地域の身近な課題に目を向けることで、地域住民のニーズに応じたよりきめ細やかなまちづくりができるようになると考えています。

地域の活力と交流を生み出し、『これからも宮に住もう』、『どうせ住むなら楽しい宮がいい』と感じる宮区民の姿を想像し、取り組んで行きます。



農林部会

部会長 山川 芳範

緑豊かな宮の谷も水田は重粘土質の土壌と高い畦畔のため、管理には非常に苦労をされています。近年の農産物価格の低下と農業従事者の高齢化や農業機械の導入経費の高騰、ため池や用排水路の維持管理など難問が山積していることなどから、担い手の減少は避けられず、農地の荒廃化が急速に進んでいくおそれがあります。

それに加え、サル、イノシシ、シカなどが頻繁に出没するようになり、丹精込めて育てた作物が根こそぎとっていいほど食べ尽くされている光景を見ることが珍しくありません。防護網や電気柵の対策をされているところもありますが、ほんの一部に過ぎず、抜本的な対策には至っていません。かつて薪炭を生産していた里山は、エネルギー革命以降その役割を失い、人手が入らないことから害獣の棲みかとなつて化している面もあります。

様々な課題が多い中、農業者団体との協議検討をしっかりと進め、農地を保全し、儲かる農業経営を展開していくためには、特産品の推進や、広域営農組織の検討など幅広い取り組みが必要です。地域の皆さんとともに考える場を作っていきたいと思っています。



今年度、「地
ん寄席」と「
のご協力を頂
ることが出来
は11月5日
観客の参加を
あわせ、桂坊
各氏の落語家
場を笑いの渦
した。また、
月10日にJA
各区や区民の
力焼き・うどん
店や、注連縄
ヤムなどの特
安玉子販売や
新しい試みの
お集まりいた

来年度もこ
の方が参加い
えたいと思い

新しい試み
ている観桜会
への手助けが
たいと考えて
将来構想「宮の
り」の検討を進
おります。これ
しと一定の方
会の開催を進
ので、皆様の
くお願いしま



地域振興部会

部会長 望月 正人

地域振興部会では、「忍にわくわくフェア」を皆様き、盛況のうちに開催しました。「忍にん寄席」にて下馬杉公民館で多数の頂き、生演奏のお囃子に枝、笑福亭竹林、桂福丸さんが得意の演題で会に引き込こんでくれま「わくわくフェア」は12こうか宮店とで開催し、方々のご協力により、イン・コロッケなどの模擬・蒟蒻・ブルーベリー産物コーナーに加え、格ガラポンくじといった実施により多くの方にだきました。

これらの催しにより多くただけるよう企画を考ます。

として各地区で行われや桜祭り、桜並木の更新可能か検討してまいりいます。「地域振興」のの将来を考えるまちづく進めて参りたいと考えてれからは問題点の洗い出向性を見出すための部めたいと考えていますご理解とご協力をよろしす。



安全安心部会

部会長 奥田 照男

安全安心部会では「地域安全パトロール」「災害時の避難体制作り」等に取り組む事としました。

「地域安全パトロール」では現在、子供達の通学時において、スクールガード、更生保護女性会、にんにん110当番の家、地域のボランティアの方々のご協力で、安全を見守って頂いております。これからも継続するようお願いをします。

育友会の事業で、道路への「飛び出し注意」の標識を立てて頂いておりますが、まだまだ危険な箇所があり本年度、自治振興会より新たに10本購入致しました。各区に配分し子供達を交通事故から守る事としました。

「災害時の避難体制作り」大地震がいつ来てもおかしくない状況だと報道されています。場所を問わない台風や豪雨による大規模災害も想定されます。その為、一目で避難箇所への安全なルートが分かるよう、また消火栓等の設置箇所が分かるような防災マップを作りたいと考えています。



健康福祉部会

部会長 森岡 光良

健康福祉部会は、初年度事業として子供会の合同研修旅行を実施しました。当部の事業取り組みとしては、人権尊重のまちづくり、健康づくり、ボランティア活動への取り組み等多岐にわたっています。

このような中で次年度以降、短期、中期、長期の課題があり、まちづくり計画の中において設定しております。本地区は、高齢化の進展と若者、子供の減少が顕著であり、今後いかに共生していくかが課題と考えています。そのためには、まず現状把握と課題の分析を行っていききたいと考えています。

今後の目標として「豊かな人間関係を育む」、「自分達は地域のため、みんなのために役立っている」、「みんなが主人公になれる」、と思える宮地区にできればと思っています。

宮地区のみなさん方からも、いろいろなアイデア、助言、提案をお願いいたします。

宮地区自治振興会への提案

上馬杉区 匿名男性さん

上馬杉では、つい十数年前までは六〇数世帯であったが、今は五二世帯となり、その内九世帯が空き家となっている。最近高齢者が多く亡くなられ、一五〇人余りに人口が激減、高齢者比率が若干低下した。このような状況は概ね宮地区全体に共通すると考えられる。私自身も六〇歳を超え、高齢者予備軍である。辺境地域の特徴である「高齢化社会」は常態化している。私は、特に大きな問題である高齢化に対して、自治振興会（地域全体）で取り組むべきだと考える。

〈老人用施設の充実〉

地域内の遊休施設を活用（リフォーム）して、老人がそれぞれの好みに応じて時間を過ごす施設。民生委員さんによる「おたっしやひろば」の日常版であり、またデイサービスの地域版であるが、将来的には介護施設として国の施策に則り、宿泊（ショートステイに限定）もできるようにする。

そのためには、介護等福祉の専門家の協力を得る必要がある。専門家に運営を依頼することも必要である。但し、施設の改造は「国の補助金頼み」にすると実現性が乏しいので、地域住民の出資が必要。運営面では、殆ど受益者負担（介護保険適用）であるが、送迎や食事サービス等住民の「有償ボランティア」に期待することも出来る。

寺庄では、地域通貨を利用してボランティアにいくらかの報いをしている。取り敢えず、早々に検討されたい。

〈買い物支援〉

（深刻な状態ではないと思うが）甲賀市の進める「情報基盤整備事業」に合わせて、買い物支援などを行う。市民センターを拠点にして、物品供給や食事サービスをすすめる。業者が介入することになるが、地域住民による有償ボランティア隊にも期待したい。



自治振興会への提言

市民センターへ来られた

お客さんとの会話の中から（複数名）

・役員さんが男性ばかりで組織されているので、女性目線の意見が全く反映されていないのでは？

・JA 宮店の二階の部屋はほとんど空いている状態なので、そこを利用して気軽に集まれる場所として、例えば月一回くらい、お菓子づくりや切り絵や趣味の教室など楽しみながらやっていくのはどうでしょうか？ 地域の中には色んな得意分野を持っておられる人がいると思います。

・ほとんどの家で家庭菜園、畑で野菜等を作っていると思うので、上手に作る方法を教えてもらえないでしょうか？



・社寺の問題は地域の将来に大きな影響を与える大きな問題だと思えます。各区だけでなく宮全体の問題として考えていかなければ手遅れになるのでは…と心配しています。

（宗教関係のことを直接自治振興会として取り組むことはできないと思われませんが、地域全体の問題であることは明確なので、何らかのアクションを起こすべきだと思われれます。）

自治振興会より

ご提案ありがとうございます。お菓子作りや切り絵の趣味の会や家庭菜園のお話は大変参考になりました。

自治振興会の組織の中に女性や若い人を取り込む事ができる様、以前から話し合っています。その節はぜひお願いします。社寺の問題は自治振興会で取り上げるわけにはいきませんが、色々な層の話を聞くことも必要です。紙面を取り上げさせていただきますましたので、話し合いの輪が広がることを期待しています。

上馬杉匿名さんのご提案は、今の自治振興会の力量を遙かに超えた構想ですが、部分的には適応可能な分野です。貴重な意見を理事会や部会で検討させていただきます。貴重なご意見や意図をお寄せ下さい。お待ちしております。

甲南第三地域市民センター

86-8518



北田聖一



西尾京子



今年の1月から JA こうか宮店内の甲南第三地域市民センターでお世話になっています、西尾京子です。宮地区の皆さまに暖かいお声をかけて頂き、嬉しく思っています。これから宮地区で色々なことを学ばせて頂きながら、この地域のために少しでもお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。